

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(17年7月分)

1. 調査実施期間 平成17年 6月20日 ~ 7月10日
2. 調査実施方法  
東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。  
7月分の回答企業数は46社、回収率は80.7%である。
3. 判断指数の算出方法  
各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = {(「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合)} ÷ 2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight.D.I.

		17/7月	8月	9月
仕入動向	国産材	5.3	21.1	3.9
	外材	3.4	18.2	1.2
販売動向	国産材	10.3	21.8	5.1
	外材	4.5	11.4	5.7
在庫動向	国産材	10.5	6.6	6.6
	外材	14.3	8.3	4.8

仕入れは、国産材、外材とも8月にマイナス幅は大きくなるが、9月には好転して国産材は小さなマイナス幅、外材はプラス幅となる。

販売は、国産材、外材とも8月にマイナス幅は大きくなるが、9月には一転回復して、国産材は小さなマイナス幅、外材はプラス幅となる。

在庫は国産材、外材とも引き続きマイナス基調であるが、マイナス幅は着実に減少している。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight.D.I.

品目	17/7月	8月	9月
スギ正角(グリーン)	8.1	6.5	1.7
スギ正角(KD)	3.3	3.3	0.0
ヒノキ正角	12.1	7.6	3.1
ヒノキ土台角	10.9	7.8	1.6
米ツガ正角(現地挽)	1.7	0.0	1.7
米ツガ防腐土台角	1.7	1.7	1.7
米ツガ割物(現地挽)	3.4	5.2	3.4
米マツ平角	1.7	1.7	1.7
北洋アカマツタルキ(現地挽)	1.7	3.3	0.0
ホワイトウッド集成管柱	24.1	5.4	0.0
レッドウッド集成平角	6.0	0.0	0.0
型枠合板(国産)	2.4	4.8	9.5
型枠合板(輸入)	1.9	3.8	9.6
針葉樹合板	16.0	4.0	10.0

スギ、ヒノキ構造材は、8~9月とマイナス幅を着実に縮め回復基調が感じられる。米ツガの正角・土台角等はマイナス幅からプラス幅へ好転している。米マツ平角は小さなマイナス幅の横ばいである。また北洋アカマツタルキは小さなプラス、ゼロでほぼ横ばいの推移である。

WW集成管柱、RW集成平角は、7月のプラス幅を大幅に縮め、9月にはゼロと今後の動きが注目される。

合板は、7月のマイナス幅も好転して、8~9月はプラス幅を大きくしている。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

1. 荷動き

単位: %

品目		17/7月	8月	9月	
仕入動向	国産材	増加	2.6	0.0	0.0
		やや増加	13.2	0.0	13.2
		横ばい	60.5	65.8	68.4
		やや減少	18.4	26.3	15.8
		減少	5.3	7.9	2.6
	外材	増加	4.5	0.0	2.3
		やや増加	20.5	6.8	16.3
		横ばい	43.2	56.8	65.1
		やや減少	27.3	29.5	14.0
		減少	4.5	6.8	2.3
販売動向	国産材	増加	2.6	0.0	0.0
		やや増加	12.8	5.1	15.4
		横ばい	51.3	53.8	61.5
		やや減少	28.2	33.3	20.5
		減少	5.1	7.7	2.6
	外材	増加	2.3	0.0	2.3
		やや増加	20.5	13.6	18.2
		横ばい	45.5	54.5	68.2
		やや減少	29.5	27.3	11.4
		減少	2.3	4.5	0.0
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	13.2	7.9	5.3
		横ばい	57.9	76.3	81.6
		やや減少	23.7	10.5	7.9
		減少	5.3	5.3	5.3
	外材	増加	2.4	0.0	2.4
		やや増加	7.1	11.9	2.4
		横ばい	57.1	61.9	81.0
		やや減少	26.2	23.8	11.9
		減少	7.1	2.4	2.4

2. 価格動向

品目		17/7月	8月	9月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	83.9	87.1	96.7
	やや下落	16.1	12.9	3.3
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	3.3	0.0	3.4
	横ばい	86.7	93.3	93.1
	やや下落	10.0	6.7	3.4
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	3.0	0.0	0.0
	横ばい	69.7	84.8	93.8
	やや下落	27.3	15.2	6.3
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	3.1	3.1	3.2
	横ばい	78.1	78.1	90.3
	やや下落	18.8	18.8	6.5
	下落	0.0	0.0	0.0

品目		17/7月	8月	9月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	3.4	6.9
	横ばい	96.6	93.1	89.7
	やや下落	3.4	3.4	3.4
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	3.3	3.4
	横ばい	96.7	96.7	96.6
	やや下落	3.3	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	6.9	10.3	6.9
	横ばい	93.1	89.7	93.1
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	6.7	3.3	3.4
	横ばい	83.3	90.0	89.7
	やや下落	10.0	6.7	6.9
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	6.7	6.7	0.0
	横ばい	90.0	93.3	100.0
	やや下落	3.3	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	3.7	0.0	0.0
	やや上昇	48.1	17.9	3.7
	横ばい	40.7	75.0	92.6
	やや下落	7.4	7.1	3.7
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	12.0	0.0	0.0
	横ばい	88.0	100.0	100.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	9.5	9.5	19.0
	横ばい	76.2	90.5	81.0
	やや下落	14.3	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	15.4	11.5	19.2
	横ばい	73.1	84.6	80.8
	やや下落	11.5	3.8	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	0.0	0.0	4.0
	やや上昇	12.0	12.0	16.0
	横ばい	48.0	84.0	76.0
	やや下落	36.0	4.0	4.0
	下落	4.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

ここ数日の円安傾向が仕入れを益々難しくしている。今月渡加した人の情報では、1週間滞在して検品した筏は0(ゼロ)との事。出材減は深刻である。(東京:問屋)

米、加、役物丸太は現地高値張り付きに加え、円安の為、大幅なコストアップだが、国内価格へは転換できず、問屋は損覚悟の仕入れを強いられる。(東京:問屋)

荷動きは細かいながら底ばなれしつつある。お客が在庫を極端に絞っているためと思われる(欠品材が出てきているため)。(東京:問屋)

荷動き低調。ラワン材のみ不足している。(東京:問屋)

7月入梅、8月お祭りとお祭りと明るさなし。(東京:問屋)

販売不振はまだまだ続く。(東海:問屋)

中京地区はヒノキ柱、土台ともに弱含み。ヒノキ原木も安い。プレカット率が90%を超えている。従って無垢志向が減り、積層の領域が増大。内地材は全体に弱い。(東海:問屋)

たいへん悪い。(東海:問屋)

針葉樹合板が下落したと思う。(東京:仲買小売)

いよいよ今年も後半に入ってしまった。前半の悪かった分も含めて頑張ろうと思うが、依然として未だに先が見えない。(東京:仲買小売)

5月、6月、7月と続けて低調。商いが半分以下になった。(東京:仲買小売)

リフォーム店として今月よりスタートした。住設機器販売を主力にするにはエンドユーザー販売指向にせざるを得ない。既存販売ルートは崩壊したと思われる。(東京:仲買小売)

ぼちぼち得意先も動き出したような気がするが、売り上げの多くは大手下請けの工務店が相変わらず主体である。(東京:仲買小売)

たまたま新築が重なり今月は動いたが来月はまた元に戻りそう。平均して動いてくれれば...。(東海:仲買小売)

木材、合板共に市場価格は安定していて、ベイマツ平角と針葉樹合板に値ごろ感がでてきた。(東海:仲買小売)

商社はホワイトウッドの品不足で値上げを暗示していますが、市況の低迷の中で値上げの容認は難しい。(東海:仲買小売)

中国材が7月より小割材(根太、タルキ等)の値上げに踏み切る。(東海:仲買小売)